

様式第 8

平成 23 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地 域 名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
東埼玉資源環境組合地域	東埼玉資源環境組合・越谷市・草加市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町	平成17年度～平成22年度	平成17年度～平成22年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成16年度)	目標 (割合※1) (平成23年度) A	実績 (割合※1) (平成23年度) B	実績 B / 目標 A	
排出量	事業系 総排出量	77,153 トン	77,679 トン (H16比+0.7%)	65,163 トン (H16比-15.5%)	83.9%
	1事業所当たりの排出量	2.31 トン/事業所	2.31 トン/事業所	1.89 トン/事業所	81.8%
	家庭系 総排出量	226,415 トン	237,250 トン (H16比+4.8%)	210,481 トン (H16比-7.0%)	88.7%
	1人当たりの排出量	247.4 kg/人	245.9 kg/人	211.2 kg/人 (H16比-14.6%)	85.9%
合 計	事業系家庭系総排出量合計	303,568 トン	314,929 トン (H16比+3.7%)	275,644 トン (H16比-9.2%)	87.5%
再生利用量	直接資源化量	8,325 トン (2.7%)	9,567 トン (3.0%)	11,808 トン (4.3%)	123.4%
	総資源化量	49,798 トン (16.4%)	64,357 トン (20.4%)	49,814 トン (18.1%)	77.4%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	164,014 MWh	196,265 MWh	137,272 MWh	69.9%
減量化量	中間処理による減量化量	243,567 トン (80.2%)	249,981 トン (79.4%)	217,035 トン (78.7%)	86.8%
最終処分量	埋立最終処分量	34,949 トン (11.5%)	36,839 トン (11.7%)	30,572 トン (11.1%)	83.0%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成16年度)	目 標 (平成23年度) A	実 績 (平成23年度) B	実績 B / 目標 A	
総人口	852,093 人	896,119 人	889,556 人	-	
公共下水道	汚水衛生処理人口	537,184 人	693,938 人	677,701 人	97.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	63.1%	77.4%	76.2%	98.4%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	73 人	674 人	451 人	66.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.009%	0.10%	0.05%	50.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	87,965 人	75,275 人	58,827 人	78.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	10.3%	8.4%	6.6%	78.6%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	226,871 人	126,232 人	152,577 人	120.9%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	学校、地域でのごみ減量化等に係る教育活動の実施	越谷市 草加市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町	地域構成市町がそれぞれ学校・地域住民に対し学習活動を支援	平成17年度～ 平成22年度	<p>【越谷市】越谷市リサイクルプラザにおける施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内小学4年生を対象とした施設見学を実施。(複数回)</li> <li>市民を対象としたリサイクル教室の開催。(年20回程度)</li> </ul> <p>【草加市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学4年生を対象として副読本『くらしとごみ』を作成し、環境学習に活用。</li> <li>草加市リサイクルセンターの施設見学を実施。</li> <li>自治会等各種団体からの要請に応じて出前講座や見学会を毎年実施。</li> <li>小中学校における給食牛乳パックやアルミ缶の回収を実施。</li> </ul> <p>【八潮市】八潮市リサイクルプラザにおける施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習(施設見学)の実施。</li> <li>自治会等各種団体からの要請に応じて出前講座を毎年実施。</li> </ul> <p>【三郷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校からの要請に応じて環境学習を実施。</li> <li>自治会等各種団体からの要請に応じて出張講座・施設見学会を実施。</li> </ul> <p>【吉川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習出前講座のメニュー表を小中学校へ配布し、総合学習時間を活用した出前講座を実施。</li> <li>自治会等各種団体からの要請に応じて、ごみ減量説明会を毎年実施。</li> </ul> <p>【松伏町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会を対象とした、ごみの分別について「出前講座」を実施。</li> <li>中学生による社会体験事業「3 daysチャレンジ」を実施。</li> </ul>
	12	分別区分の徹底、排出抑制・再資源化の普及啓発	越谷市 草加市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町	PRの強化や説明会などを実施していく	平成17年度～ 平成22年度	<p>【越谷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の広報紙にごみの減量・資源化を呼びかける記事を掲載。</li> <li>雑紙の分別を呼びかける「雑紙救出大作戦」を展開し、啓発チラシの配布、各種イベントでのパネル展示、学校等への出張講座を実施。</li> </ul> <p>【草加市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページ・広報紙などを活用し、ごみの減量・分別・資源化についてPRをした。</li> <li>集積所の管理やごみの排出方法を掲載した「ごみ収集カレンダー」を各戸配布し分別の周知を図った。</li> </ul> <p>【八潮市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページ・広報紙などを活用し、ごみの減量・分別・資源化についてPRをした。</li> <li>「雑紙は大切な資源です」を各戸配布し分別の周知を図った。</li> </ul> <p>【三郷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページ・広報紙などにより、ごみの減量・分別・資源化についてPRをした。</li> <li>「ごみと資源物の分け方・出し方」パンフレットを各戸配布し、分別の周知を図った。</li> </ul> <p>【吉川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページや広報紙に環境月間特集記事等を掲載するなど、ごみの減量・分別・資源化について周知を図った。</li> </ul> <p>【松伏町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ・広報紙を活用した啓発活動を実施。</li> </ul>
	13	PTA、子ども会、地域団体活動への助成	越谷市 草加市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町	集団資源回収などの再資源化体制の構築や支援を継続する	平成17年度～ 平成22年度	<p>【越谷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集団回収の実施団体に対する奨励金交付事業の継続。</li> <li>生ごみ処理機器の購入に対する補助金交付の継続。</li> </ul> <p>【草加市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成6年度に集団回収実施団体に対する奨励金を引き上げ(5円/kg→7円/kg)、資源回収の推進を図った。</li> </ul> <p>【八潮市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度に集団回収実施団体に対する奨励金支給対象にペットボトルを追加し、資源回収の推進を図った。</li> </ul> <p>【三郷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集団資源回収実施団体に買い上げ金を支払い(6円/kg)、集団資源回収の推進を図った。</li> </ul> <p>【吉川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃やすごみの減量化及び資源の有効利用を図るため、平成2年度から自治会・子ども会・PTAなどが実施する資源回収に対して、回収量に応じた奨励費補助金を交付し、資源回収の推進を図っている。</li> </ul> <p>【松伏町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度に集団回収実施団体に対する奨励金を2円/kgから5円/kgに引き上げ、資源回収の推進を図った。</li> </ul>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	14	事業者への排出抑制、資源回収の普及指導等	越谷市 草加市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町	事業者に対し、ごみ減量化計画の策定や、その遂行を求める	平成17年度～ 平成22年度	<p>【越谷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業所にごみ減量・資源化を呼びかける印刷物を配布。</li> </ul> <p>【草加市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内多量排出事業者に対し、ごみ減量化計画の策定を促すとともに、事業系ごみの減量指導を行った。</li> </ul> <p>【八潮市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内多量排出事業者に対し、ごみ減量化計画の策定を促すとともに、事業系ごみの減量指導を行った。</li> </ul> <p>【三郷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の多量排出事業者に対し、ごみ減量化計画の策定を促した。</li> <li>市ホームページ・広報誌などにより、事業系ごみの減量のPRをした。</li> </ul> <p>【吉川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内多量排出事業者に対しては、事業系ごみの減量指導を実施した。</li> </ul> <p>【松伏町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者に対し広報、ホームページでごみ減量化の遂行を求めた。</li> </ul>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	施設整備に先行して分別区分を変更	越谷市	循環型社会形成推進のため施設稼働前より分別区分を変更	平成18年度～ 平成22年度	平成18年度に収集区分を8区分→15区分変更。資源化率は平成22年度実績で収集区分変更前の平成17年度に比べて2.8ポイント上昇した。
	22	ペットボトルの分別収集の検討	越谷市 草加市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町	サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへ転換を図る	平成18年度～ 平成22年度	<p>【越谷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度からごみの収集品目を15種類に増やし、分別収集による資源物の収集強化とごみの減量化を図った。</li> </ul> <p>【草加市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年7月から、ペットボトルの分別収集を開始した。</li> </ul> <p>【八潮市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年4月から、ペットボトルの分別収集を開始。</li> <li>回収方法を、拠点回収から集積所回収に併せて変更した。</li> </ul> <p>【三郷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年4月から、ペットボトルの分別収集を開始した。</li> </ul> <p>【吉川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年4月から、ペットボトルの分別収集を開始した。</li> </ul> <p>【松伏町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年9月から、ペットボトルの分別収集を開始した。</li> </ul>
処理施設の整備に関するもの	1	高効率ごみ発電施設整備	東埼玉資源環境組合		平成17年度～ 平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年3月27日～平成19年9月28日：旧第二工場ごみ処理施設を解体。</li> <li>平成21年3月：第二工場ごみ処理施設建設に関する合意書を取り交した。</li> <li>平成22年6月：事業着手前の環境影響評価手続き終了。</li> <li>平成23年1月：建設期間を平成23年度～26年度に変更した第2期地域計画を提出。</li> <li>拡張用地取得に向けて、交渉を継続中。</li> </ul>
	2	リサイクルセンター整備	草加市		平成18年度～ 平成21年度	既存の草加市クリーンリサイクルセンターを建替え、草加市リサイクルセンターを整備した。 平成19年1月 着工 平成21年10月15日 竣工
	3	合併浄化槽整備	吉川市		平成18年度～ 平成22年度	平成18年度から平成22年度の5か年で、188基（新設169基、転換19基）の合併浄化槽の設置に対し補助金を交付し、設置促進や単独処理浄化槽等の転換促進を図った。
	4	合併浄化槽整備	越谷市		平成17年度～ 平成22年度 (平成22年度)	平成17年度から平成22年度の6か年で、842基の合併浄化槽の設置に対し補助金を交付し、設置促進や単独処理浄化槽等の転換促進を図った。（平成22年度は101基）

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	41	再生利用品の需要拡大	東埼玉資源環境組合	剪定枝、苧草の堆肥化並びにスラッグのインターロッキングブロックによる利用促進	平成17年度～平成22年度	<p>【剪定枝等の堆肥化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成11年度からごみの減量と資源化の推進を目的に、剪定枝、刈草の堆肥化を実施し、有機栽培や緑化の推進を行っている。</li> <li>平成16年11月～平成17年3月に、堆肥化施設の増築工事を行い、処理能力1,800トン/年となり、更なるごみの減量、資源化に取り組んでいる。</li> <li>平成23年3月の東日本大震災による福島第一原発事故の影響のため、7月から受入を中止している。</li> </ul> <p>【スラッグの利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スラッグは、有効利用の見直しを行うため、平成21年度をもってインターロッキングブロックの製作を休止し、人工砂の代替品として有効利用している。</li> <li>今後の利用については、関係団体との協議を継続し、民間企業との連携により希少金属の効果的な取り出し方について調査・研究中であるが、現在、放射性物質の影響により見合わせている。</li> </ul>
	42	不法投棄対策	越谷市 草加市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町	各市町で分別収集の徹底やパトロールの強化・早期回収を図る	平成17年度～平成22年度	<p>【越谷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物減量等推進員や一般住民からの通報があり次第、警察と連携してパトロールを行っている。</li> </ul> <p>【草加市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内全域で定期的なパトロールを実施し、集積所の監視と不法投棄物の速やかな撤去を行った。</li> <li>監視カメラや看板を設置した。</li> </ul> <p>【八潮市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄多発地区で定期的なパトロールを実施し、不法投棄物の速やかな撤去を行った。</li> <li>看板を設置した。</li> </ul> <p>【三郷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄多発地区の管理者と不法投棄への対応を協議した。</li> <li>不法投棄物内に残っていた宛名ラベル等から不法投棄者について追跡調査を実施。</li> </ul> <p>【吉川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内全域で定期的な不法投棄防止パトロールを実施するとともに、投棄されていたごみの速やかな撤去を実施。</li> </ul> <p>【松伏町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年4月1日から不法投棄の監視、撤去を行う環境指導員を配置</li> <li>国の緊急雇用対策の一環で町内巡回パトロールを実施し、不法投棄対策の強化を図っている。</li> </ul>
	43	災害時の廃棄物処理体制の整備	越谷市 草加市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町 東埼玉資源環境組合	災害廃棄物処理計画等の策定や、近隣市町村と連携した処理体制の構築を検討	平成17年度～平成22年度	<p>平成20年7月 県内すべての市町村及び清掃関係一部事務組合との間で相互支援協定を締結。 平成22年8月 埼玉県清掃行政研究協議会（県、すべての市町村、全ての清掃関係一部事務組合）と一般廃棄物関係事業者（109社）間で支援協定を締結。以上により、災害発生時の相互応援体制の強化を図るとともに、各構成市町では、以下に示すとおり災害廃棄物処理計画等を策定し、災害時に備える体制を構築した。</p> <p>【越谷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害廃棄物等処理計画については、継続して検討中。</li> </ul> <p>【草加市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年1月に草加市地域防災計画を策定し、埼玉県清掃行政研究協議会による広域的な相互応援等の体制に参加し、近隣地町村との連携処理体制を構築した。</li> </ul> <p>【八潮市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年3月に災害廃棄物等処理計画を策定し、近隣市町村との連携処理体制を構築した。</li> </ul> <p>【三郷市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年3月に三郷市地域防災計画を策定し、埼玉県清掃行政研究会と「災害時における一般廃棄物処理県内協力体制実施協定」を締結した。</li> </ul> <p>【吉川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年8月に災害廃棄物等処理計画を策定し、近隣市町村との連携処理体制を構築した。</li> </ul> <p>【松伏町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害廃棄物等処理計画については、継続して検討中。</li> </ul> <p>【東埼玉資源循環組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害廃棄物等の処理に関する相互支援協定を埼玉県清掃行政研究協議会と協定を締結し、災害廃棄物の処理体制を整備した。</li> </ul>

### 【ごみ処理】

排出量、減量化量、最終処分量については、いずれも目標を達成する結果となった。とりわけ、排出量については基準年度（平成16年度）と比べて、大型商業店舗の進出に伴うごみ排出量の増加があったものの、事業系ごみで約16%、また、家庭系ごみでは37,463人（H16比4.4%）の人口増加に関わらず、約7%の減量を達成した。

熱回収量については、目標値を下回る結果となったが、これは排出量の減少等によるものと考えられる。また、再生利用量は若干目標に達していないものの、最終処分量は目標を大きく上回る減量が達成できた。

今後、発生抑制と処分量の削減に努め、再生利用の向上並びに第二工場の早期建設に向けて引き続き取り組んでいく。

### 【生活排水処理】

目標年度における公共下水道人口等の汚水処理形態別人口は、個々には目標を下回っているが、汚水衛生処理率（汚水衛生処理人口の合計／総人口）は、計画当時と比較し着実に増加している。

今後についても、合併浄化槽の設置の促進及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換を図るように啓発・指導に努める。

（都道府県知事の所見）

東埼玉資源環境組合及び組合構成市町が実施した各施策により、ごみの排出量、最終処分量等において、地域計画の目標を上回る成果があった。

一方で、ごみの再生利用率(率)、生活排水処理に係る項目において、地域計画の目標を下回っていたが、ごみ処理においては排出量自体が減少していること、生活排水処理においては下水道等も含めた全体の普及率は計画策定時より増加していること等から、循環型社会の推進に向けた施策は着実に行われてきたことが窺える。

また、別添改善計画書にある改善策により、循環型社会へのさらなる推進が期待される。